

三心を磨く

学校だより NO. 43
平成30年11月12日(月)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇東祭が終わっても歌声は止まらない！ ～教室から聞こえる素敵な歌声～

11月に突入しました。感動の東祭・音楽会が終わり、すでに1ヶ月以上が過ぎようとしています。

あの2日間が終わり、先日お伝え(三心を磨く「10月29日 No.41号」)したように3年生を中心に「学習モード」が校内に広がる中、あの時と変わらずに「歌」を歌っているクラスがたくさんあります。それも毎日、朝夕の学級活動で、相変わらず素敵な声で歌っているのです。今は「翼をください」や「東祭のテーマソング」が聞こえてくるのですが、合唱を続けることで、明らかに声が変わってきていることがわかります。

そんなクラスの生徒たちに、「とても素敵な声になったね」と話すと、「そうですか！うれしいです」「歌はすごく楽しいから…」「親善音楽会の日の3年生のように、私たちもしっかり歌いたいから」「一人一人が本気で歌える東の伝統をつながなきゃいけない！」などといった、うれしくなるような応えばかりが返ってきました。

私のこれまでの経験をふり返ると、文化祭が終わると、各クラスの合唱練習は「終わり」になったような気がします。あれだけ本気で歌っていたのに、その日を境に「ピタッ」と歌声が消えてしまう、それが常でした。そんな経験の中、ずっと歌い続けるその姿に「本物」を感じています。頼もしい生徒たちです。

また生徒会も、これまでに創り上げてきた東中の歌声を絶やさないように工夫をし、素晴らしい取り組みを続けています。それは、縦割りチームによる「歌い合い」です。東祭終了後に、図書・学芸委員長から課題曲が発表され、学活でそれぞれのクラスが練習し、昼休みを使ったチーム練習がありました。

【コスモスチーム：1の1・2の1・3の1連合】

そして、全校音楽での「歌い合い」が行われました。曲目は「翼をください」でした。両チームともに、優雅にいてねいな合唱でした。「東祭の時よりも、また一段といいなあ」とは、校長先生のつぶやきです。本当にきれいなハーモニーであり、体育館に響き渡りました。日々の積み重ねの大切さを実感した瞬間です。

今回の「歌い合い」の結果は、11月下旬に行われる生徒集会で発表される予定です。前回は、サルビアチームが僅差で勝利しましたが、今回はどうなるでしょうか？楽しみです。

これから1年生は、小学校6年生をお招きする「中学校説明会」にむけた合唱の練習が始まり、2年生は先日聞いた、3年生が歌った「花は咲く」の練習を行います。そして3年生は、迫り来る「卒業式」を意識しながら、最後の曲の選定を行い、練習に入ります。よって「歌い合い」は、しばらく「お休み」となります。

今、廊下を歩く生徒が、何気なく歌を口ずさむ光景を目にします。そんな姿や声を聞いて、私たちは思わずニコニコしてしまいます。「何気なく…」そんな雰囲気大切に育て、広げていきたいと思えます。



【サルビアチーム：1の2・2の2・3の2連合】



【コスモスチーム：1の1・2の1・3の1連合】

◇3学年は総合⑤、1・2学年は期末テストへ ～11月15・16日の2日間～◇

11月も中旬となりました。15日(木)・16日(金)はテストです。3年生は「総合テスト⑤」、1・2年生は「2学期期末テスト」が行われます。これまでの2学期の学習をふり返るチャンス、大切にしたいと思います。

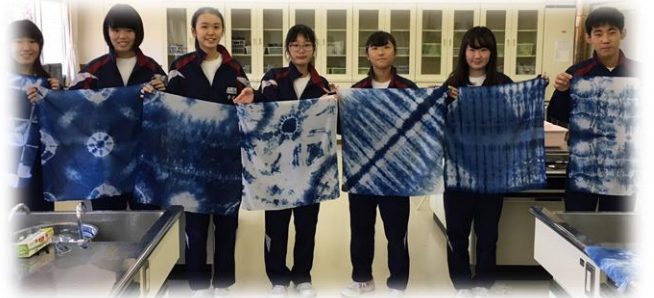
保護者の皆様もご存じの通り、本校ではテスト前に「補習」や「プレテスト」を行っています。この取り組みの裏には「しっかりと準備や理解をしてテストに挑む」という願いがあり、テストに向かう「姿勢づくり」も含まれます。この取り組みも今年で3年目を迎え、生徒たちへも徐々に浸透しつつあります。

今回の補習は、10月29日(月)に始まり、11月9日・12日・14日にそれぞれ行われています。テスト勉強のやり方を学ぶ機会でもあるので、大切にすすめています。

今週は、テスト前のため「部活動」がありません。「スイッチ OFF 週間」や「学問の秋」と合わせて、学習に力を入れてほしいと思います。ご家庭での生徒たちへの励ましやアドバイス、よろしくお願いいたします。

◇参観日ありがとうございました！ ～地域体験講座・アズマデー発表会～◇

11月8日(木)、今年度4回目の参観日が行われました。今回は、「地域体験講座」と、これまで行われた1日総合や総合的な学習の時間「アズマデー」のまとめやふり返りの場である、「発表会」を参観日として位置づけ、保護者の皆様や地域の方々にご来校いただきました。アズマデー発表会には来賓の皆様を含めて70数名ほどの参観があり、多くの方々にご覧いただき、大変うれしく、職員一同感激しています。ありがとうございました。



【藍染め体験講座：信州の名工 木村藤雄さんに学ぶ】

参観日当日は、午前中に「地域体験講座」が行われ、「サバイバル炊き出し」「ブラインドサッカー体験」「異文化交流体験」「縄文文化体験」「伝統的楽器体験」「藍染め体験」の6講座が開かれ、地域の方々に学びました。

活動時間は2時間弱、約100分間でしたが、講師の方々が事前より数々の工夫やきめ細かなご準備をしてくださったおかげで、スムーズに進みました。どの会場でも、生徒たちの真剣な姿がみられ、笑顔や歓声、学びに包まれていました。とても素敵な時間となりました。生徒たちのために貴重な時間を使い

【「縄文文化体験講座」より：火起こし体験】ご準備してくださった講師の皆様にご心より感謝申し上げます。



【伝統的な楽器体験：琴】 【ブラインドサッカー体験の様子から】 【サバイバル炊き出し講座】

そして午後はアズマデー発表会と題して、1年生は「職場見学」や「哲学対話」での学びを、2年生は「職場体験」での学びを、3年生はこれまでの「福祉学習」や「手話学習」の学びの成果をそれぞれ発表しました。自分たちの体験から語る言葉は重く、とても中身のある発表会となりました。